

## 「身体障害者等受験特別措置申請書」作成上の注意

- (1) この申請書は、本人又は記入代理人（受験者と相談の上）が、記入してください。
- (2) 「(4)各欄の記入方法」を参照し、黒又は青のボールペンを使用し、正確に記入してください。
- (3) 誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し、訂正してください。
- (4) 各欄の記入方法

区 分	記 入 方 法 等
「整理番号」欄 「氏 名」欄 「生年月日」欄 「性 別」欄	この欄は、記入しないでください。 戸籍の記載どおりに記入してください。 生年月日を記入してください。 該当する文字を○で囲んでください。
「身体障害の程度」欄	該当する事項について、「該当する」の文字を○で囲んでください。 この場合必ず1欄のみに記入してください。  身体障害者手帳の交付を受けている者は、交付番号及び交付年月日等についても記入してください。  下の欄には、症状及び日常生活での状況等を詳しく記入してください。  (例) 「下肢障害のため車いすを使用している。」 「洋式トイレを介助なしで使用できる。」
「受験に際して希望する措置」欄	該当する事項の「希望する」の文字を○で囲んでください。 該当する希望事項がない場合には、「その他」欄の「希望する」の文字を○で囲み、右欄にどのような措置を希望するか詳しく記入してください。 特に希望する事項がない場合には、右最下欄の「希望しない」の文字を○で囲んでください。
「受験者の現住所・連絡電話番号」欄	緊急の連絡の場合に必要となりますので、必ず記入してください。  アパート等の場合は、名称、室名又は〇〇様方まで正確に記入してください。  (注) 現住所・連絡電話番号に変更があった場合には、「記載事項変更届」に新旧の事項を明記し、郵便で届け出てください。
「記入者名」欄	本人又は記入代理人が署名、押印してください。

### (5) その他必要書類について

試験申込書の「身体障害等による特別措置の希望」欄の「希望する」に○印を付けてください。また、医師の「診断・意見書」(P.43~46)又は「身体障害者手帳の写し(本人及び等級と障害の内容が確認できる箇所)」を提出してください。身体障害者手帳の写しで本人及び等級と障害の内容が確認できない場合は、医師の「診断・意見書」が必要です。

※けがや病気により突発的に車いす、拡大鏡を使用することになった場合、試験前日までに特別措置の申請を行ってください。申請がない場合、使用が認められません。